

## お身体の不自由な方々の 安全安心な移動へのサポート



身体の不自由な方々の社会復帰に向けた安全な移動手段の確保のために、運転の評価や訓練の機会の提供と、地域における運転復帰プロセス全体の支援として、病院や福祉団体、自動車教習所との連携を進めています。また、今後の高齢化の進展により増えてくる、デイケアセンターなどに車で送迎される方々の「安全安心な移動」の実現にも取り組み始めました。

### 福祉領域の安全運転教育を 自動車教習所を核に普及拡大

高次脳機能障がいなどにより加療中の方々は社会復帰をめざしてリハビリテーションに取り組み、その中には運転復帰を希望される方もたくさんいます。こうしたリハビリ中の方々の運転に対する評価や訓練をサポートするため、Hondaは「自操安全運転プログラム」\*(以下、自操プログラム)を開発し、全国の交通教育センターで受講できる体制を整え、活用いただいています。また、こうした「場」の拡大をめざし、Hondaが連携している自動車教習所の協力を得て病院やリハビリ施設での活用拡大を図っています。

青森県では(株)ムジコ・クリエイティブが自操プログラムを同社経営の4つの自動車教習所(弘前モータースクール、青森モータースクール、八戸モータースクール、浪岡モータースクール)での受講者の受け入れに向け、同社とHondaは4校の教習指導員を対象とした自操プログラムの研修会を弘前モータースクールで実施しました。研修会に参加した教習指導員の方々からは



弘前モータースクールでの自操安全運転プログラム研修会

「青森県は公共交通機関が充実していない地域が多いので、運転は生活していく上でとても重要なことです。自操プログラムによって、一人でも多くの方々の運転復帰をお手伝いしたい」「障がいをお持ちの方は不安をかかえた状態で教習所にいらっしゃるはず。そうした不安を少しでも和らげられる対応を教習所全体で考えたいと思います」という声が聞かれました。この他、沖縄県の津嘉山自動車学校も自操プログラムを導入し、来年は他の地域にも拡大していく予定です。

※リハビリ加療中の方々の運転復帰を車両訓練でサポートし、より安全に自由な移動を楽しんでいただくことをめざす安全運転プログラム。

### 病院同士の連携による 運転復帰プロセス構築を支援

四国では、「リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト(P26参照。以下、ソフト)」を導入している病院が連携して、運転復帰をめざす方々の運転能力の評価方法や判断基準の確立に向けた活動を開始しました。その第一歩として、ソフトや停止状態の実車を使って、運転評価に必要な様々なデータを収集し、検証を行っているところです。四国4県の作業療法士会とともに、Hondaもこうした活動をサポートしています。



津嘉山自動車学校に設置されている「リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト」



四国4県の病院が連携して活動を開始した運転復帰支援プロジェクト

### デイケアセンターなど送迎車の 安全な運行を支援

交通教育センターでは自操プログラムのほか、「移送安全運転プログラム(以下、移送プログラム)」も提供しています。高齢者や障がいをお持ちの方々が施設等へ通うために必要な送迎サービスが増加する中、サービスを提供する方々が、送迎中の利用者への配慮など安全な運行に必要な意識や知識を身につけることができる教育プログラムです。群馬県では、福祉サービス送迎運転者講習会を昨年より開催していますが、このたびは群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会は、来年2月より同講習会に移送プログラムの実技教育を導入します。それに先立ち、今年10月に交通教育センターのインストラクターが講習会担当者や施設管理者、送迎ドライバーへの体験会を実施し、今後の実技導入へに向けた対応を進めています。



群馬県内での導入に向けた「移送安全運転プログラム」の実施